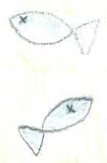


環境



と

幸せ



2023年12月5日
豊頃町立
豊頃小学校
6年
野原 玲奈

ストローはプラスチックが勝たん

私は少し前、テレビでプラスチックのことで長時間ダイベートしているのを目にした。何がそんなに問題なのだろうか。

みなさんはプラスチックの製品が紙に変わって、どう思うのだろうか。私は特にいやではなかった。だがどうしてもストローが紙になっただけのことはいやだった。

なぜ紙に？

そもそもなぜプラスチックから紙に変わったのかを調べた。理由として、全国で毎年海に約八百万トンものプ

日本はどうなの

まず二十一年の順位は二六万トンで三十

位だった。次に二千二十二年は同じく二六万トンで三十位だった。これは象一万五千頭ほどの活動が行われているが、この十二年で順位が変わっていない。だからいろいろな物が紙に変わってきていると理解した。

美味しい味

だがストローまで紙にする必要があるのだろうか。紙のストローを使い飲み物を飲むと美味しさが半減してしまうそう。私は美味しい飲み物は美味しいまま飲みたい。

私の考え

そこで私は考えた。口に入れない物を紙にすると思い。例えばお弁当の箱やハンカチ、おかしのおくるみなどの物を紙に変えることで、美味しいまま飲み物を飲め、ストローのプラスチック以上紙製品が増えて良いと考えた。

世界の取り組み

「食べられる水」で話題の物があ。海操で飲み物の容器をつくり、そのまま口に入れて食べられる物のことだ。私はこれにすごく感動した。ペットボトルのプラスチックが減って、ミネラルやビタミンが摂取できて、地球にも人にもすごくプラスだと思ふ。

結論

私はインターネットでいろいろな資料を見て、口に入れる物はプラスチックにし、口に入れない物を紙にするが良い。そして世界で行っていることを日本にも取り入れていく。そうすることで人々はもっと幸せになり、地球はもっときれいになると思ふ。



資料	
1位 中国	132~353万t
30位 日本	2~6万t ← 2012年
1位 中国	132~353万t
30位 日本	2~6万t ← 2022年



↑世界で話題の「食べられる水」

私はこの新聞を書いて、環境の問題がたくさん分かった。毎年何匹もの魚が死んでいる。日本はどうか、他のうなのか、他にも世界でやられていることがストローのことは不満に思

私の願い

多くの人が工夫をし、たくさん生き物がすみやすい世界になること願っている。